

第18回「県内企業景気動向調査」結果 (平成21年2月調査)

※2月調査はアンケートのみの簡易調査です。

【景気動向調査の要旨】

- ◆ 県内企業の業況は、自社の業況判断を示すD I 値（「自社の業況」D I 値）でみて、前年同期比、前期比ともに「悪い」超。「自社の業況」D I 値（前年同期比）は▲44.6となっており、前回調査時点（平成20年11月）と比べて13.6ポイント低下するなど、悪化している。
- ◆ 業種別では、建設業のD I 値（前年同期比）が21.2ポイント低下して過去最大幅の下落となったほか、すべての業種でD I 値が過去最低を更新するなど、厳しい状況。
- ◆ 地域別では、「自社の業況」D I 値（前年同期比）がすべての地域で「悪い」超。村山北部を除く5地域で前回調査時点と比べてD I 値が低下するなど、各地で景気は悪化している。特に、村山南部、最上、置賜、庄内飽海の4地域では、D I 値が過去最低の水準となるなど、景気の悪化が目立った。
- ◆ 業況の先行き見通しは、自社の業況D I 値が▲58.7となっており、先行き不安感が先行。

【特別調査の要旨】

- ◆ 平成20年10月以降に実施した雇用調整について
 - ・ 県内企業の3割で残業規制を実施、製造業では50人以上の人員削減を行った企業も多い
- ◆ 新規学卒者の採用状況について
 - ・ 今年度の採用状況は例年並み、特に内需関連業種で積極的に採用を実施

平成21年2月

株式会社荘銀総合研究所

I. 山形県の景気動向

1. 概況

県内企業の業況は、自社の業況判断を示すD I 値（「自社の業況」D I 値）でみて、前年同期比、前期比ともに「悪い」超。「自社の業況」D I 値（前年同期比）は▲44.6 となっており、前回調査時点（平成 20 年 11 月）と比べて 13.6 ポイント低下するなど、悪化している。

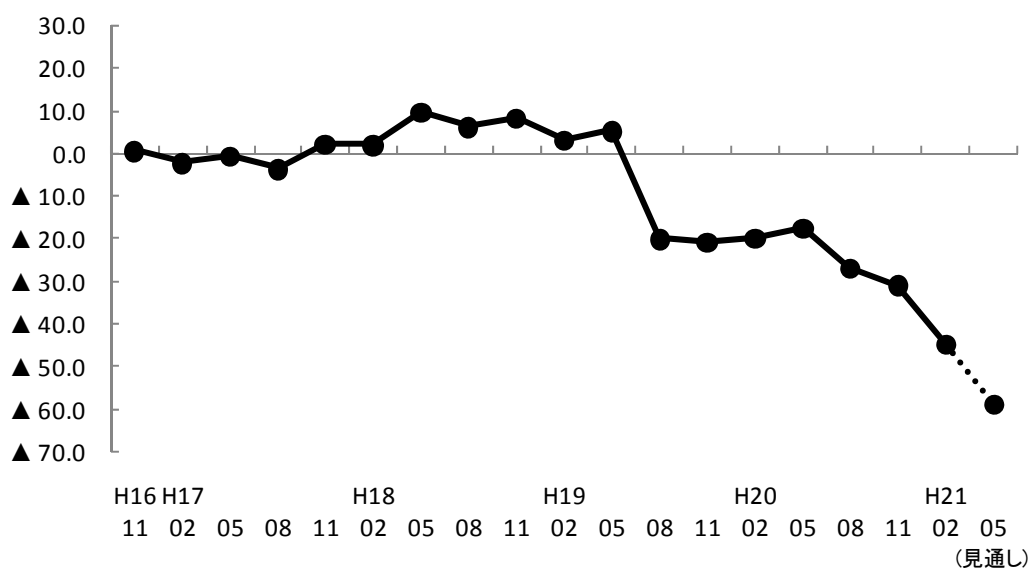
業況の先行き見通しは、自社の業況D I 値が▲58.7 となっており、先行き不安感が先行。

各D I 値の動向

(前年同期比) (調査時点)	自社の業況		売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
		(前期比)				
H 20.02	▲19.9	(▲14.0)	▲12.3	▲27.9	▲1.5	▲23.3
H 20.05	▲17.5	(▲23.5)	▲6.0	▲21.5	▲6.7	▲22.9
H 20.08	▲26.8	(▲22.1)	▲10.8	▲26.2	▲7.6	▲24.0
H 20.11	▲31.0	(▲23.4)	▲23.7	▲33.6	▲9.2	▲30.5
H 20.02	▲44.6	(▲41.0)	▲41.5	▲39.4	▲27.1	▲31.8
H 21.05(見通し)	▲58.7	(-)	▲50.5	▲52.1	▲23.0	▲49.1

※「売上高」D I 値は建設業の「完成工事高」を含んだ値。

「自社の業況」D I 値（前年同期比）の推移



2. 業種別の動向

(1) 建設業

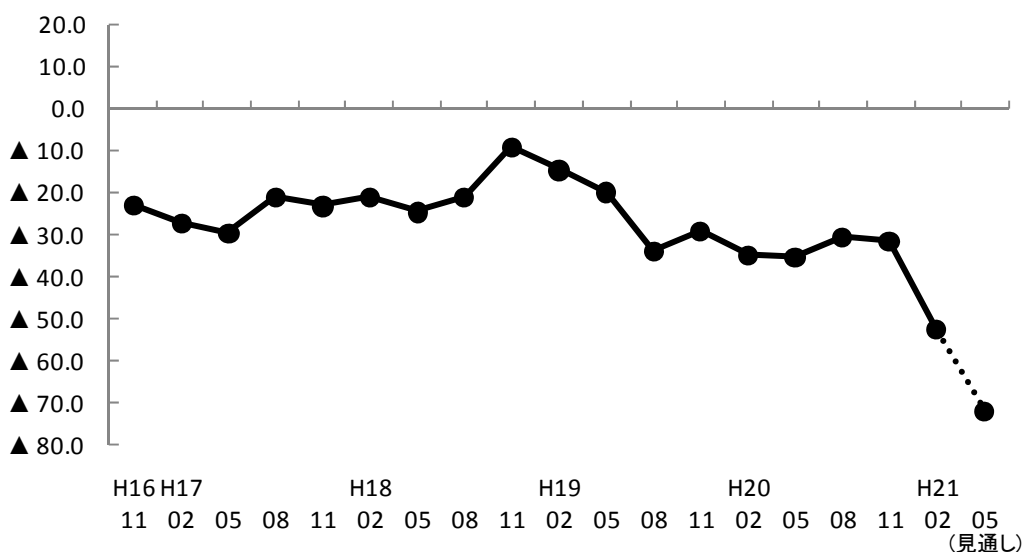
業況は、前年同期比、前期比ともに「悪い」超。「自社の業況」D I 値（前年同期比）は▲52.7となっており、前回調査時点と比べて21.2ポイント低下するなど、大幅に業況が悪化した。

業況の先行き見通しは、自社の業況D I 値が▲72.0となっており、依然として先行き不安感が先行。

各D I 値の動向

(前年同期比) (調査時点)	自社の業況		完成 工事高	営業 利益	手持 工事高	人員 人手	資金 繰り
		(前期比)					
H 20.02	▲35.0	(▲25.7)	▲40.2	▲47.0	▲32.4	▲19.7	▲35.0
H 20.05	▲35.5	(▲37.1)	▲22.5	▲31.4	▲35.5	▲26.6	▲34.6
H 20.08	▲30.5	(▲33.0)	▲24.3	▲33.9	▲37.4	▲19.1	▲31.3
H 20.11	▲31.5	(▲17.7)	▲35.5	▲44.4	▲31.5	▲5.6	▲38.8
H 21.02	▲52.7	(▲43.0)	▲48.3	▲45.6	▲55.3	▲35.1	▲39.5
H 21.05(見通し)	▲72.0	(-)	▲69.3	▲70.2	▲65.8	▲36.9	▲66.7

「自社の業況」D I 値（前年同期比）の推移



(2) 製造業

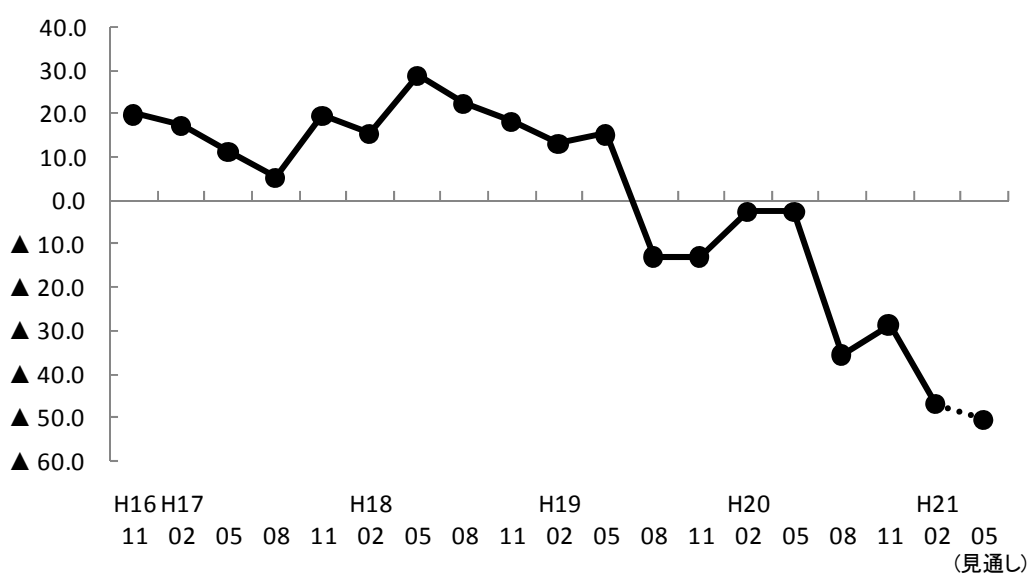
業況は、前年同期比、前期比ともに「悪い」超。「自社の業況」D I 値（前年同期比）は前回調査時点より 18.4 ポイント低下して▲47.2 となるなど、さらに業況が悪化した。

業況の先行き見通しは、自社の業況D I 値が▲50.7 となっており、先行き不安感が先行。

各D I 値の動向

(前年同期比) (調査時点)	自社の業況		売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
	(前期比)							
H 20.02	▲2.8	(▲2.1)	6.3	▲19.8	▲79.6	▲12.6	4.9	▲9.1
H 20.05	▲2.8	(▲11.2)	4.9	▲15.3	▲83.3	▲17.4	▲7.0	▲11.1
H 20.08	▲35.7	(▲28.7)	▲16.3	▲30.2	▲84.5	▲13.2	▲10.1	▲17.8
H 20.11	▲28.8	(▲22.7)	▲19.7	▲28.0	▲72.0	▲15.2	▲27.3	▲31.8
H 21.02	▲47.2	(▲44.4)	▲44.4	▲47.2	▲12.7	▲20.4	▲43.0	▲36.6
H 21.05(見通し)	▲50.7	(-)	▲45.8	▲52.1	9.8	▲40.9	▲29.6	▲50.7

「自社の業況」D I 値（前年同期比）の推移



(3) 卸・小売業

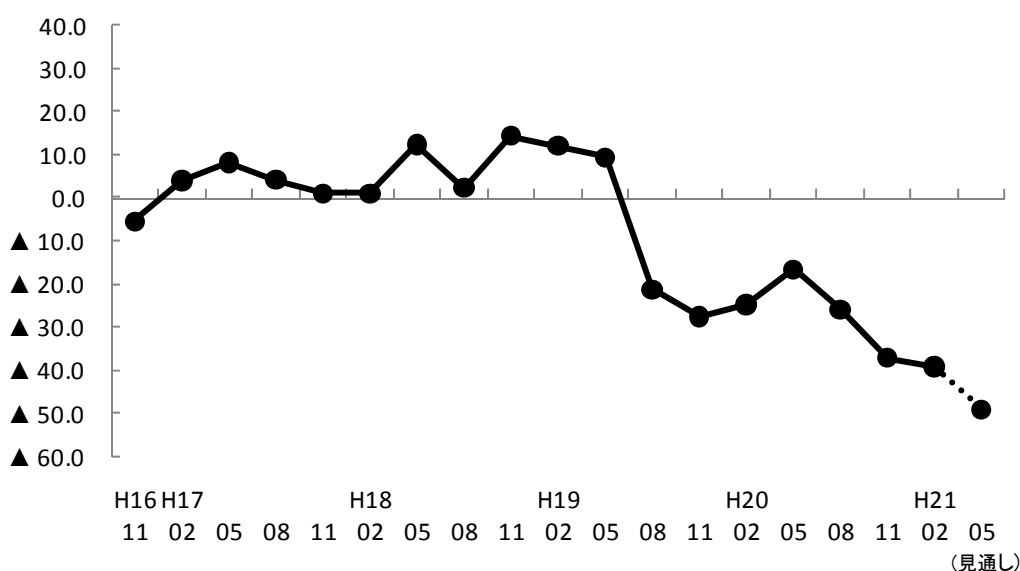
業況は、前年同期比、前期比ともに「悪い」超。「自社の業況」D I 値（前年同期比）は▲39.2となっており、前回調査時点より2.0ポイント低下するなど、悪化している。

業況の先行き見通しは、自社の業況D I 値が▲49.1となっており、先行き不安感が先行。

各D I 値の動向

(前年同期比) (調査時点)	自社の業況		売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
	(前期比)							
H 20.02	▲24.8	(▲11.4)	▲8.5	▲27.6	▲59.1	▲19.1	▲1.9	▲27.6
H 20.05	▲16.5	(▲24.3)	0.0	▲18.3	▲69.6	▲8.7	▲0.8	▲22.6
H 20.08	▲25.8	(▲10.3)	4.3	▲19.8	▲69.0	▲9.5	▲4.3	▲26.7
H 20.11	▲37.2	(▲33.3)	▲21.6	▲28.5	▲55.9	▲16.7	▲7.8	▲19.7
H 21.02	▲39.2	(▲37.3)	▲40.0	▲22.6	▲22.6	▲18.2	▲15.7	▲23.5
H 21.05(見通し)	▲49.1	(—)	▲43.5	▲37.4	▲8.7	▲36.5	▲15.7	▲38.2

「自社の業況」D I 値（前年同期比）の推移



(4) サービス業

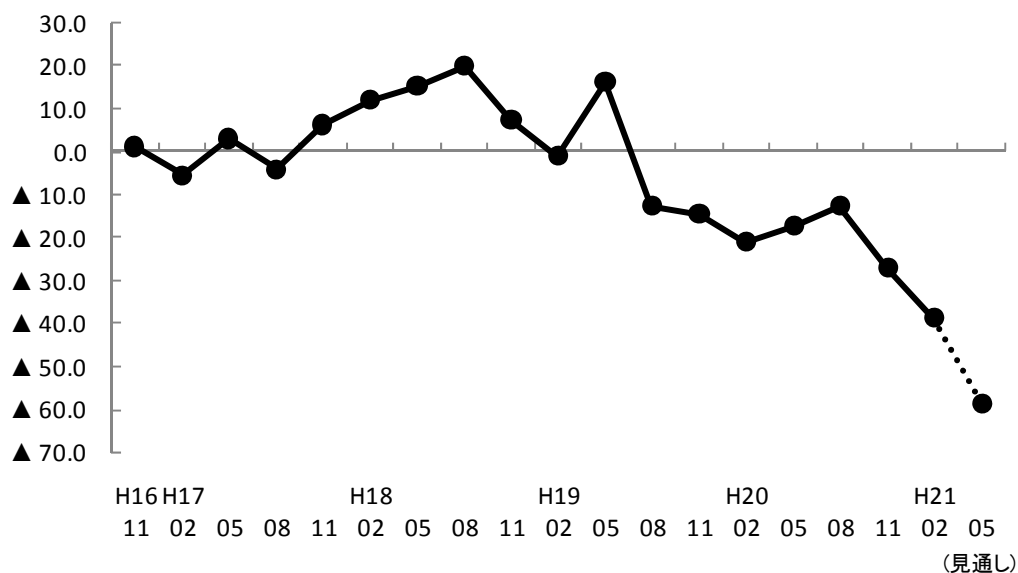
業況は、前年同期比、前期比ともに「悪い」超。「自社の業況」D I 値（前年同期比）は▲38.7となっており、前回調査時点より11.6ポイント低下するなど、悪化している。

業況の先行き見通しは、自社の業況D I 値が▲58.6となっており、先行き不安感が先行。

各D I 値の動向

(前年同期比) (調査時点)	自社の業況		売上高	営業利益	人員人手	資金繰り
	(前期比)					
H 20.02	▲21.1	(▲19.3)	▲10.1	▲18.3	10.1	▲24.8
H 20.05	▲17.4	(▲23.4)	▲7.8	▲21.7	9.6	▲25.2
H 20.08	▲12.8	(▲14.7)	▲5.9	▲19.6	4.9	▲20.6
H 20.11	▲27.1	(▲21.5)	▲16.9	▲32.7	7.5	▲30.0
H 21.02	▲38.7	(▲38.8)	▲32.8	▲40.5	▲12.2	▲26.1
H 21.05(見通し)	▲58.6	(-)	▲44.8	▲49.2	▲9.6	▲40.0

「自社の業況」D I 値（前年同期比）の推移



3. 地域別の動向

(1) 概況

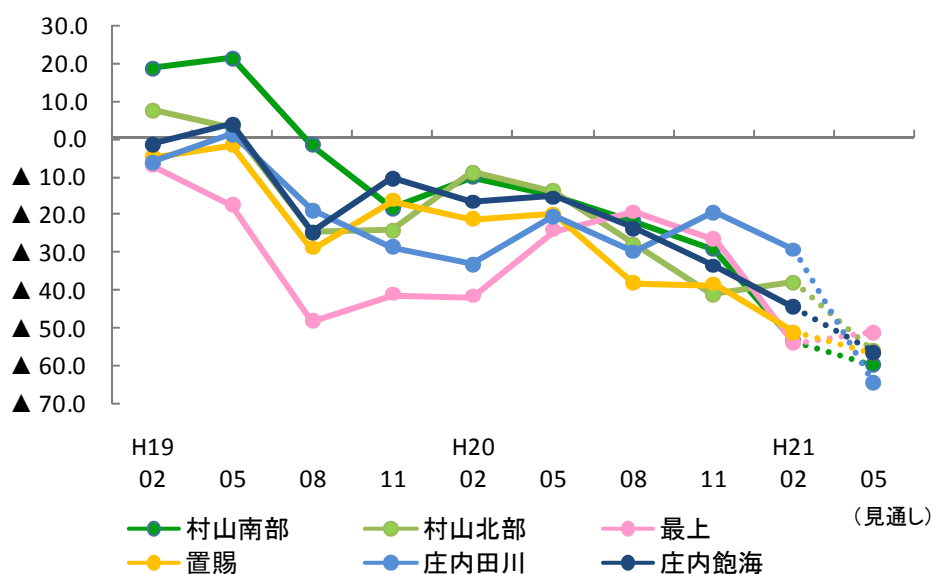
県内各地の景気動向は、「自社の業況」D I 値（前年同期比）がすべての地域で「悪い」超。村山北部を除く 5 地域で前回調査時点と比べてD I 値が低下するなど、各地で景気は悪化している。特に、村山南部、最上、置賜、庄内飽海の 4 地域では、D I 値が過去最低の水準となるなど、景気の悪化が目立った。

業況の先行き見通しは、最上でやや横ばいとなったものの、それ以外の 5 地域では悪化しており、総じて浮揚感に乏しい。

地域別「自社の業況」D I 値（前年同期比）

（前年同期比） （調査時点）	村山 南部	村山 北部	最上	置賜	庄内 田川	庄内 飽海
H 20.02	▲10.3	▲8.9	▲41.7	▲21.5	▲33.3	▲16.8
H 20.05	▲15.2	▲13.8	▲24.3	▲20.0	▲20.5	▲15.6
H 20.08	▲22.0	▲27.9	▲19.5	▲38.2	▲29.9	▲24.0
H 20.11	▲29.3	▲41.3	▲26.5	▲38.6	▲19.4	▲33.7
H 21.02	▲53.7	▲38.0	▲54.1	▲51.3	▲29.3	▲44.6
H 21.05（見通し）	▲60.2	▲56.3	▲51.4	▲56.8	▲64.7	▲56.7

地域別「自社の業況」D I 値（前年同期比）の推移



(2) 各地の主要D I 値の動向

① 村山南部

(全業種)

(前年同期比) (調査時点)	自社の業況		売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
		(前期比)				
H 20.11	▲29.3	(▲22.4)	▲17.3	▲28.4	▲10.3	▲27.6
H 21.02	▲53.7	(▲44.7)	▲46.3	▲43.1	▲22.8	▲27.6
H 21.05(見通し)	▲60.2	(-)	▲46.3	▲44.7	▲15.4	▲45.5

(業種別「自社の業況」D I 値)

(前年同期比) (調査時点)	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
H 20.11	▲4.8	▲37.1	▲47.0	▲20.6
H 21.02	▲63.1	▲46.7	▲57.2	▲51.2
H 21.05(見通し)	▲78.9	▲50.0	▲52.9	▲46.2

② 村山北部

(全業種)

(前年同期比) (調査時点)	自社の業況		売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
		(前期比)				
H 20.11	▲41.3	(▲31.7)	▲20.7	▲28.5	▲17.5	▲25.4
H 21.02	▲38.0	(▲36.6)	▲39.4	▲33.8	▲45.1	▲29.6
H 21.05(見通し)	▲56.3	(-)	▲49.3	▲50.7	▲33.8	▲45.1

(業種別「自社の業況」D I 値)

(前年同期比) (調査時点)	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
H 20.11	▲55.6	▲39.3	▲25.0	▲33.3
H 21.02	▲61.1	▲41.4	▲8.3	▲25.0
H 21.05(見通し)	▲77.7	▲37.9	▲37.5	▲75.0

③ 最上

(全業種)

(前年同期比) (調査時点)	自社の業況		売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
		(前期比)				
H 20.11	▲26.5	(▲8.8)	▲35.3	▲26.5	5.8	▲58.8
H 21.02	▲54.1	(▲59.5)	▲59.5	▲43.3	▲24.3	▲51.4
H 21.05(見通し)	▲51.4	(-)	▲43.3	▲54.1	▲37.8	▲70.3

(業種別「自社の業況」D I 値)

(前年同期比) (調査時点)	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
H 20.11	▲27.8	▲50.0	▲40.0	20.0
H 21.02	▲70.0	▲62.5	▲33.3	33.4
H 21.05(見通し)	▲50.0	▲100.0	▲20.0	0.0

④ 置賜

(全業種)

(前年同期比) (調査時点)	自社の業況		売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
		(前期比)				
H 20.11	▲38.6	(▲35.7)	▲32.9	▲51.4	▲21.4	▲38.6
H 21.02	▲51.3	(▲47.3)	▲54.1	▲59.4	▲39.1	▲44.6
H 21.05(見通し)	▲56.8	(-)	▲52.7	▲52.7	▲27.0	▲51.4

(業種別「自社の業況」D I 値)

(前年同期比) (調査時点)	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
H 20.11	▲52.9	▲21.7	▲36.8	▲54.5
H 21.02	▲70.6	▲50.0	▲35.0	▲54.5
H 21.05(見通し)	▲88.2	▲42.3	▲57.9	▲63.6

⑤ 庄内田川

(全業種)

(前年同期比) (調査時点)	自社の業況		売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
		(前期比)				
H 20.11	▲19.4	(▲9.6)	▲22.6	▲28.0	▲11.9	▲32.2
H 21.02	▲29.3	(▲24.3)	▲27.3	▲27.3	▲21.2	▲26.3
H 21.05(見通し)	▲64.7	(-)	▲52.5	▲56.6	▲20.2	▲50.5

(業種別「自社の業況」D I 値)

(前年同期比) (調査時点)	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
H 20.11	▲32.2	▲14.8	▲11.1	▲15.0
H 21.02	▲16.7	▲42.3	▲37.5	▲20.0
H 21.05(見通し)	▲62.5	▲61.5	▲38.9	▲72.0

⑥ 庄内飽海

(全業種)

(前年同期比) (調査時点)	自社の業況		売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
		(前期比)				
H 20.11	▲33.7	(▲29.2)	▲23.6	▲38.2	4.5	▲19.1
H 21.02	▲44.6	(▲45.8)	▲33.7	▲33.7	▲15.7	▲26.5
H 21.05(見通し)	▲56.7	(-)	▲56.7	▲57.9	▲18.1	▲44.6

(業種別「自社の業況」D I 値)

(前年同期比) (調査時点)	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
H 20.11	▲22.8	▲23.8	▲50.0	▲39.3
H 21.02	▲43.7	▲52.2	▲33.3	▲46.2
H 21.05(見通し)	▲81.3	▲47.9	▲55.6	▲61.5

Ⅱ. 景気天気図

※ 天気図とは、地域別・業種別に「自社の業況」DI値（前年同期比）を5段階に分けて図解したものです。「天気図の凡例」をご参照のこと。

【天気図の凡例】

特に好調	好調	まあまあ	不振	きわめて不振
DI \geq 30	30>DI \geq 10	10>DI \geq ▲10	▲10>DI \geq ▲30	▲30>DI

◆ 前期の概況（平成20年11月調査）

	山形県	村山南部	村山北部	最上置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種						
建設業						
製造業						
卸・小売業						
サービス業						

◆ 今期の概況（平成21年2月調査）

	山形県	村山南部	村山北部	最上置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種						
建設業						
製造業						
卸・小売業						
サービス業						

◆ 来期の見通し（平成21年2月調査）

	山形県	村山南部	村山北部	最上置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種						
建設業						
製造業						
卸・小売業						
サービス業						

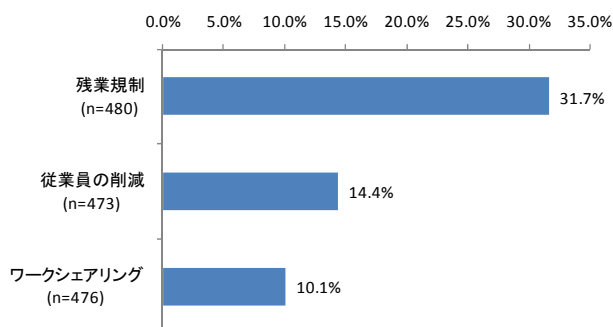
Ⅲ. 特別調査①：平成20年10月以降に実施した雇用調整について

県内企業の3割が「残業規制」を実施

米国金融市場の混乱に端を発する世界的な景気悪化を受け、平成20年10月以降に実施した（あるいは実施している）雇用調整の状況について尋ねた。最も回答率が高かったのは「残業規制」であり、回答企業の31.7%が実施していた。

また、「従業員の削減」は回答企業の14.4%が実施したほか、「ワークシェアリング」は回答企業の10.1%が実施していた。

図表Ⅲ－1 雇用調整の実施状況

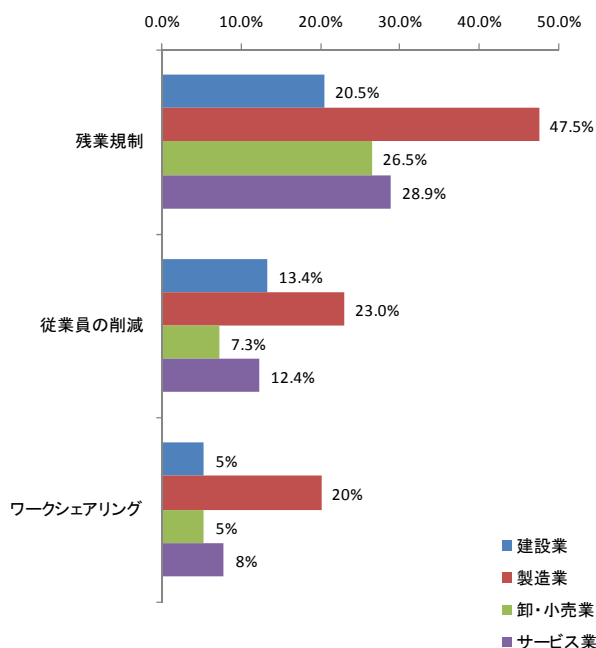


製造業の雇用調整が特に顕著

業種別にみた雇用調整の状況は、すべての項目について製造業の取り組みが最も高い割合を示しており、急激な需要減少への対応に迫られている様子がうかがえた。特に、「残業規制」については製造関連企業の47.5%が実施しており、県内企業の約半数がこの四半期間に急激な減産対応を強いられているものと思われる。

一方、すべての業種において「ワークシェアリング」を行っている企業よりも「従業員の削減」を行った企業の割合が高くなっていった。特に、製造業以外の業種における「ワークシェアリング」の取り組み状況が低く、業種・業態の違いによって取り組み状況に大きな差があることが分かった。

図表Ⅲ－2 業種別・雇用調整の実施状況



四半期で15人の人員削減、製造業の厳しさを反映

「従業員の削減」を実施したと回答した企業に対し、具体的に削減した人数を答えてもらった。全業種でみた1社あたり平均削減人数は15人となっており、うち正社員が5人、非正社員が10人であった。

また業種別では、製造業の削減状況がもっとも厳しく25人、うち正社員が6人、非正社員が18人であった。中には合計50人以上の大規模な人員削減を行った企業も数社あるなど、厳しい状況となっている。設問項目に対する回答数の約半数が製造業であることも状況の厳しさを映し出している。

図表Ⅲ－3 従業員の削減数

		合計 (人)		
		正社員	非正社員	
全業種 (n=61)	平均値	15	5	10
	最大値	184	100	184
建設業 (n=15)	平均値	2	1	1
	最大値	9	4	5
製造業 (n=30)	平均値	25	6	18
	最大値	184	100	184
卸・小売業 (n=6)	平均値	2	2	1
	最大値	5	5	1
サービス業 (n=10)	平均値	9	6	3
	最大値	38	25	20

(注) 四捨五入により、正社員と非正社員の人数を足した合わせた人数が合計人数と必ずしも一致しない。

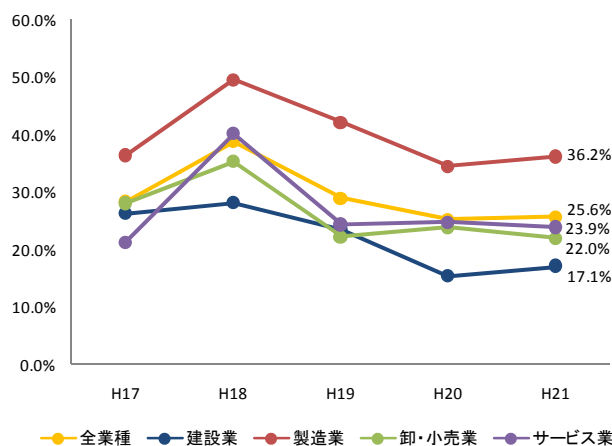
特別調査②：新規学卒者の採用状況について

新卒採用を実施した企業数は例年並み

平成20年度の新規学卒者の採用状況について尋ねたところ、「採用した」と回答した企業は全業種で25.6%となっており、昨年度並みの採用状況となった。

業種別では製造業で最も多く、36.2%の企業が「採用した」と回答した。

図表Ⅲ－4 採用した企業の割合

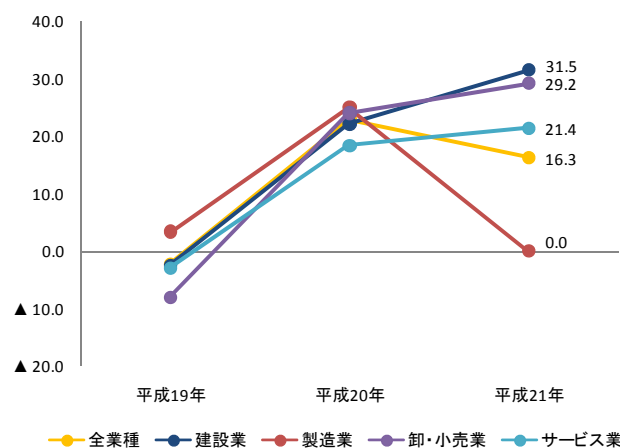


内需関連業種で積極的に採用

採用を実施した企業に対して、昨年度と比べた採用人数の増減を尋ねた。「増やした」と回答した企業の割合から「減らした」と回答した企業の割合を差し引いたD Iでみると、全業種で16.3となっており、昨年に続いて全体的に採用人数を増やした企業が多かった。

また業種別では、内需関連業種のD I値が昨年度調査よりも良くなっており、採用に積極的だった。

図表Ⅲ－5 採用D Iの推移



(注) D I = 「増やした (%)」 - 「減らした (%)」

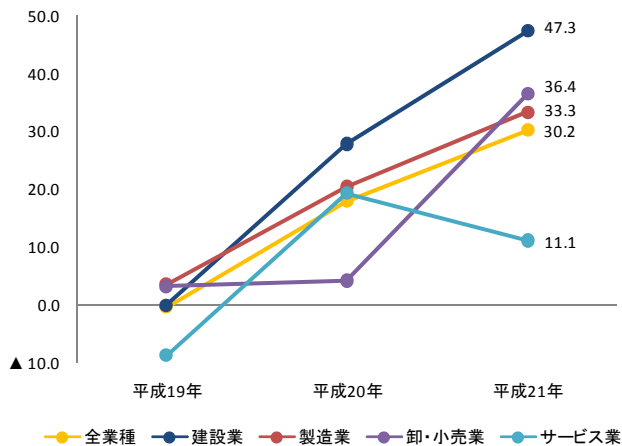
採用人数の充足度

同じく、採用計画に比べて十分な人数が確保できたかどうか尋ねた。

「十分確保できた」と回答した企業の割合から「不足している」と回答した企業の割合を差し引いたD Iでみると、全業種で30.2となっており、例年以上に採用状況に関しては満足している企業が多かった。特に、建設業や卸・小売業で充足度が高く、十分満足のいく採用活動が行えたようである。

ただし、経済状況が悪化していることから、今後は企業の新卒採用ニーズも縮小することが予想される。

図表Ⅲ－6 充足D Iの推移



(注) D I = 「十分確保できた (%)」 - 「不足している (%)」

IV. 調査の概要

- 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内の景気動向について把握するために実施した。

- 調査の方法

インターネットを利用したアンケート調査（一部FAXを利用）。

- 調査期間

平成21年2月2日（月）～13日（金）

- 調査の対象企業数および有効回答数（回答率）

調査対象企業数：894社

有効回答企業数：487社（回答率 54.5%）

- 地域区分

図表IV-1の通り。

図表IV-1 地域区分

地域名	対象となる市町村名
村山南部	山形市、上山市、山辺町、中山町
村山北部	寒河江市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町
最上	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
置賜	米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
庄内田川	鶴岡市、庄内町、三川町
庄内飽海	酒田市、遊佐町

- 調査の内容

アンケート調査は、各企業の業況判断について3肢択一方式を採っている。毎回必ず調査する「定例調査」と、調査時期にふさわしい経済トピックス等について調査する「特別調査」とを設けている。定例調査の項目は図表IV-2の通り。

図表IV-2 定例調査項目と回答の選択肢

項目	選択肢（択一方式）
自社の業況（共通項目）	1. 良い 2. さほど変わらない 3. 悪い
業界の業況（共通項目）	1. 良い 2. さほど変わらない 3. 悪い
売上高（建設業を除く）	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
完成工事高（建設業）	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
営業利益（共通項目）	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
人員や人手（共通項目）	1. 足りない 2. ちょうどよい 3. 余っている
資金繰り（共通項目）	1. 楽になった 2. さほど変わらない 3. 厳しい
原材料等の仕入価格（製造業のみ）	1. 下がった 2. さほど変わらない 3. 上がった
製（商）品の仕入価（卸・小売業のみ）	1. 下がった 2. さほど変わらない 3. 上がった
在庫状況（製造業）	1. 増えた 2. さほど増えていない 3. 減った
手持工事高（建設業）	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った

（注）各項目とも「前年同期比」、「前期比」、「来期の見通し」について、それぞれ3肢択一方式を採っている。

● 集計方法

各項目とも、現状判断、先行き見通しについてそれぞれD I 値を算出する。D I 値とは、Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略で、算出方法は次の通り。

例) 自社の業況D I 値

$$= (\text{「1. 良い」と回答した企業の割合}) - (\text{「3. 悪い」と回答した企業の割合})$$

たとえば「自社の業況D I 値」がプラスであれば、相対的に自社の業況が良いと判断した企業が多いことになる。また、業況の変化の方向（良くなっているか、悪くなっているか）についても分かる。

ちなみに、他のD I 値についても同様に、選択肢「1. 」(表4「選択肢」欄をご参照のこと)を選んだ企業の割合から選択肢「3. 」を選んだ企業の割合を差し引いて算出する。

V. 参考資料：基調判断用語の凡例

使用例：景気

<p>(DI 値)</p> <p>+100</p> <p>回復(改善)</p> <p>上向き</p> <p>底離れ</p> <p>底入れ</p> <p>(時間軸)</p> <p>-100</p>	<p>景気は回復している</p> <p>景気は回復しつつある</p> <p>景気は回復の兆しがみられる</p> <p>景気は上向いている</p> <p>景気は上向きつつある</p> <p>景気は上向き兆しがみられる</p> <p>景気は底離れした</p> <p>景気は底離れしつつある</p> <p>景気は底離れの兆しがみられる</p> <p>景気は底入れした</p> <p>景気は底入れしつつある</p> <p>景気は底入れの兆しがみられる</p>
<p>横向き局面</p> <p>一服 → ↑↑↑↑ 一服 : これまでの回復が止まり、横ばいとなっている</p> <p>踊り場 → ↑↑ (先行き上昇期待大)</p> <p>一進一退 → (先行き上昇期待小)</p> <p>横ばい → ↓↓ 踊り場 : これまでの回復が止まり、横ばいとなっている</p> <p>伸び悩み → ↓↓↓↓ 一進一退 : 増減を繰り返しているが、水準は不変</p> <p>低迷(低調) → ↓↓↓↓ 横ばい : 横ばいとなっている</p>	
<p>(DI 値)</p> <p>+100</p> <p>鈍化</p> <p>減速</p> <p>弱含み</p> <p>悪化(減少)</p> <p>(時間軸)</p> <p>-100</p> <p>後退局面</p>	<p>景気は鈍化の兆しがみられる</p> <p>景気は鈍化しつつある</p> <p>景気は鈍化している</p> <p>景気は減速の兆しがみられる</p> <p>景気は減速しつつある</p> <p>景気は減速している</p> <p>景気は弱含みの兆しがみられる</p> <p>景気は弱含みつつある</p> <p>景気は弱含んでいる</p> <p>景気は悪化の兆しがみられる</p> <p>景気は悪化しつつある</p> <p>景気は悪化している</p>

<お知らせ>

F S N会員専用ホームページ (<http://www.net.sfsi.co.jp/cgi-bin/fsn.cgi>) にアクセスすると、統計データの最新版をダウンロードすることができます。こちらも是非ご利用ください。なお、過去の調査レポートや統計データは当社ホームページ (<http://www.sfsi.co.jp/>) 「調査レポート」コーナーからダウンロードすることができます。

<お問い合わせ先>

株式会社荘銀総合研究所

研究開発グループ 熊本／齋藤（信）

〒990-0043 山形県山形市本町1-4-21 荘銀山形ビル8F

TEL : 023-626-9017

FAX : 023-626-9038

E-mail : kenkyuu@sfsi.co.jp

URL : <http://www.sfsi.co.jp/>